

# I 補助金の概要

# 1 補助金の趣旨と対象者



## 趣旨

感染症の流行による社会の変化に適応するため新規のプロジェクトや業態転換に取り組む市内の事業者の支援を行うことにより、地域経済を牽引する事業の創出を図る。

## 対象者

✓ 中小企業者等 又は 個人事業者であること

- ・ 資本金の額等が10億円未満  
(定めのない場合は従業員数2,000人以下)

かつ

- ・ 本店所在地が仙台市内にあること

- ・ 仙台市に住民登録があること
- または
- ・ 仙台市内の施設で事業を行っていること

✓ 市税の滞納がないこと

✓ 暴力団等と関係を有していないこと

## 2 補助事業の種類・採択予定数



種類	補助上限額	補助率
通常枠	200万円	3分の2
特別枠	200万円	<u>4分の3</u>
協業枠	<u>400万円</u>	3分の2

NEW

採択事業件数…30件程度

このうち、特別枠…全採択数の最大30%程度

協業枠… // 10%

# 3 共通要件



主な要件は以下のとおり

- 実施する事業がチャレンジ事業であること
- 令和4年10月31日までに事業が完了すること  
(補助対象は令和3年10月12日～)
- 申請事業について他の補助金の交付決定を受けていないこと
- (公財) 仙台市産業振興事業団の事前相談を受けること

など

# 4 チャレンジ事業とは



感染症の流行による社会の変化に適応するため、

- 新たな製品を製造し又は新たな商品若しくはサービスを提供すること
- 製品又は商品若しくはサービスの製造方法又は提供方法を変更すること

## ◆ 新サービス提供の例

観光バス事業を行っていたが、コロナ禍によるインバウンド需要の減少を受け、高齢者施設向けの送迎サービスを新たに開始。

## ◆ 提供方法変更の例

ダンス教室を経営していたが、室内での密を回避するため、新たにオンライン形式でのダンス教室の運営を開始。

# 5 各申請枠の詳細

## 通常枠

- ✓ 令和3年1月から12月までの任意の1ヵ月（対象月）の売上高が、その前年又は前々年における同月の売上高と比較して10%以上減少していること

年	令和3年											
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	50	70	60	80	90	60	50	70	80	90	100	100



任意の1ヵ月を選び、比較する。→10%以上減少で申請可

年	令和2年（又は平成31年・令和元年）											
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

# 5 各申請枠の詳細

## 特別枠

連続しなくてもOK

- ✓ 令和3年1月から12月までの任意の**3ヵ月**の各月（対象月）の売上高が、その前年又は前々年における同月の売上高と比較して**30%以上減少**していること

比較する年は同一年

年	令和3年											
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	50	70	60	80	90	60	50	70	80	90	100	100



任意の3ヵ月を選び、それぞれ比較する。

→ いずれの月も  
30%以上減少で  
申請可

年	令和2年（又は平成31年・令和元年）											
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

※要件に合致しない場合又は採択件数が予定件数に達した場合は、通常枠での審査又は採択となる場合があります。

# 5 各申請枠の詳細

## 協業枠

- ✓ 令和3年1月から12月までの任意の1ヵ月（対象月）の売上高が、その前年又は前々年における同月の売上高と比較して10%以上減少していること（通常枠と同じ）
- ✓ 複数の事業者で共同事業を行うこと、又は、一事業者において、複数の事業者が活用できるようなプラットフォームを構築する事業を行うこと
- ✓ 共同事業である場合、当該共同事業を連携して行うそれぞれの事業者の経費が事業計画において明確に区分できること

※事業内容によっては通常枠での審査又は採択となる場合があります。

# 6 補助対象経費

- ✓ 補助対象事業の遂行に必要なものと明確に特定できること
- ✓ 証拠資料（領収書等）により支払金額が確認できること
- ✓ 令和3年10月12日～令和4年10月31日に、発注・契約・支払する費用

## 補助対象経費の区分

建物費

機械装置・システム構築費

技術導入費

専門家経費

運搬費

クラウドサービス利用費

外注費

知的財産権等関連経費

広告宣伝・販売促進費

研修費

旅費

開発費

資料購入費

設備処分費

感染防止対策経費

（補助対象経費の25%を上限とする）

# 6 補助対象経費

以下の経費は**補助対象外**

- ✕ リースや販売を目的とした商品等の購入
- ✕ 商品を販売する際に要する送料
- ✕ 外部に販売するための量産品に関する加工外注費・原材料費
- ✕ 事務用プリンタ・スマートフォン等の汎用性の高い物品  
など

# 7 申請までの流れ

- ① 要件に該当するか確認する。
- ② 交付申請書・事業計画書・収支計画書を作成する。
- ③ 仙台市産業振興事業団の仙台市中小企企業応援窓口にて事前相談の予約をする。

仙台市中小企業応援窓口 電話番号 022-724-1122

予約フォーム [https://www.siip.city.sendai.jp/ouen/news/20220107\\_challenge.html](https://www.siip.city.sendai.jp/ouen/news/20220107_challenge.html)

- ④ 事前相談を行う。
- ⑤ 計画書等が完成したら、その他の必要書類を添えて、郵送又はEメールで申請する。

**申請期限：令和4年2月4日(金)必着**

## 8 スケジュール

2月4日 申請〆切

⇒ 専門家等による書面審査 ※プレゼン審査はありません。

2月下旬 採択候補者決定

3月3日 採択者向け説明会（参加必須）

3月下旬 交付決定

3月31日 令和3年度分実績報告→1～2ヵ月後に補助金交付

**【10月31日までに事業完了】**

10月頃 成果報告会

11月中旬 令和4年度分実績報告→1～2ヵ月後に補助金交付

# 9 採択事例

第3回

仙台市中小企業  
チャレンジ補助金



株式会社クロールアップ ×

仙台市中小企業  
チャレンジ補助金



## コロナ禍における課題

- ・ 店舗事業（居酒屋）：座席数減少
- ・ 大型イベント時のケータリングサービス：イベント減少  
→これまでのビジネスモデルでは収益の確保が困難。

## 自社の強み

- ・ バリエーションの豊富さ、幅広い価格への対応  
(学食売店・飲食店・ケータリング事業の経験)
- ・ 設備・資産があること  
(ケータリング工場、配送用冷蔵・冷凍車)

# 9 採択事例

第3回

仙台市中小企業  
チャレンジ補助金



## 事業名 お迎え惣菜.comで忙しい主婦の手助けと食育を



LINEを使って保育園・会社等にお惣菜・お弁当・お野菜を宅配。午前11時までの注文で、15時以降に保育園等へ配送。お迎えのついでに受け取れる。



補助対象経費：システム構築費、折り畳みコンテナ購入費